学校だより　10月号

相模原市立二本松小学校
2025.9.29

にほんまつ

「かしこさ」
「やさしさ」
「たくましさ」

松っ子ブログ

「本物の応援」の根底にあるもの

校長　松浦　隆志

「運命を分けたのは、今回は観客が力を送ってくれたこと。本当に助けてくれた」
（9月17日付　朝日新聞より）

これは先日開催された「世界陸上2025」で、棒高跳びの世界新記録を更新したアルマンド・デュプランティス選手がで語っていたことです。

1回目、2回目と失敗に終わり、最後の試技。他の競技は全て終わっているのに、誰一人席を立つ人はいません。デュプランティス選手がスタート位置につき、会場に手拍子が響きわたります。リズムに乗ってスピードを増していく助走。しなるポールとともに、ロケットのように身体が空中へ飛び出していきました。僅かにバーに身体が触れたものの、見事クリア。６M３０CMという世界新記録が生まれた瞬間、スタジアムが一つになるのを感じました。

今大会では、デュプランティス選手だけではなく、たくさんのアスリートが応援の力について言及していたのがとても印象的でした。

それではなぜ応援が選手の力になったのでしょうか。私は、相手の力になる応援には、一つの共通点があると考えています。それは、「本気の思い」が込められた応援であるということです。

「『本気の思い』が相手の心に響く」というのは、スポーツに限ったことではありません。

例えば、「あいさつ」です。今行っているあいさつは、「本気の思い」が込められたあいさつになっているでしょうか。

「聴くこと」についても同様です。「しっかり聴いているよ」というの「本気の思い」を相手に届けるような話の聴き方、反応をしているでしょうか。

「本気の思い」を込めた行動をすることは、相手はもちろん、自分自身も大切にすることにつながっていると考えています。

これからも様々な人や事柄との出会いの中で、子どもの「本気の思い」を大切にしていきたいと考えています。今後も引き続きご協力をお願い致します。

二本松小PTAが表彰されました

9月9日に二本松小学校PTAが「優良PTA神奈川県教育委員会表彰」を受賞しました。子どもたちのことを第一に考える基本理念と、「グリーティングロード」を始めとする学校、保護者、地域が一体となって行った実践、持続可能なPTAのあり方を模索し、活動の効率化を進めていることなどが高く評価されました。

PTAマスコットキャラクター　まもりん